

# 地域リハビリテーション広域支援センターのあり方 検討ワーキンググループの設置について (案)

## 1 趣旨

- 今後の地域リハビリテーション支援体制の検討に際して、現在の支援体制の中核となっている広域支援センターの機能・役割の見直しは、極めて重要なテーマと考えられる。
- このため、本テーマに関する検討部会での議論を円滑に行うために、検討部会の下部組織として、当事者である広域支援センターの職員を中心としたワーキンググループを設置し、現場で感じている問題点など、今後の広域支援センターのあり方について幅広・集中的に討議いただき、その結果を検討部会に提供してもらうこととしてはどうか。
- 具体的な討議内容としては、現在、各広域支援センターの圏域の実情に応じて実施している取組の中で、今後の広域支援センターの機能・役割として普遍化することが望ましいものの抽出や、広域支援センターとして周囲の関係機関に期待したい機能・役割の提案などが想定される。

## 2 構成員

各広域支援センター業務従事者の中から 10 名程度（各広域支援センターに推薦を依頼）。

## 3 開催頻度

年内 2 回程度（①第 1 回検討部会と第 2 回検討部会の間、②第 2 回検討部会と第 3 回検討部会の間）

## 4 事務局

県支援センター（千葉県千葉リハビリテーションセンター）